

かがし す
加賀市に住んでいます。
ひがしでやすえ
ルロフ東出康江です。
きょう ふうごんさんか
今日は夫婦で参加！
わたししがい か
私は司会も兼ねます。

かなざわし す
金沢市に住んでいます。
しほつしん
インドネシア出身の
ヒクマです。

かなざわし す
金沢市に住んでいます。
しゃんはいしゅうしん しほじん
上海出身の朱瑾です。

かがし す
加賀市に住んでいます。
しほつしん
フランス出身の
アレクサンドル
ルロワ コルトです。

ざ だん かい
座 談 会

「たぶんかきょうせい (多文化共生)」

って何だろう？

いしかわけん す わたし はな あ
石川県に住む私たちが話し合いました。

おとな かんが
大人に考えてほしい、
「多文化な子ども」のこと

やすえ 康江さん 今日(きょう)は長く石川(いしかわ)県(けん)に住(す)んでいるみなさん(みんな)が集(あつ)まってもらって、多文化(たぶんか)な社会(しゃかい)について、ざっくばらんに話(はな)し合(あ)ってみたいと思(おも)います。

わが家(や)もそうですが、ヒクマさん、朱瑾(しゆじん)さんのお子(こ)さんも、日本(にほん)以外の国(くに)の文化(ぶんか)も受け継(つ)いでいる「多文化(たぶんか)な子ども」です。その点(てん)で何か配慮(はいりょ)していることはありますか？

朱瑾(しゆじん)さん 外国(がいこく)人(じん)だからという理由(りゆう)で、学校(がっこう)で子ども(こ)がいじめられることはほとんどないですよ(ね)。

アレクサンドルさん 子ども(こ)は本来(ほんらい)国籍(こくせき)の違(ちが)いで差別(さべつ)をしたりはしないよ。トラブル(たふらぶる)があるとすれば大人(おとな)の影響(えいぎょう)が大きいと思(おも)う。

ヒクマさん 最近(さいきん)みたい(に)国(くに)どうしのいざこざ(ざ)があったら、「だから〇〇人(じん)は・・・」みたいなこと(こと)はない？

朱瑾(しゆじん)さん 子ども(こ)がそういうふう(ふう)に言(い)われたという話(はなし)も聞(き)いたこと(こと)はあるけど(けど)…。国(くに)と国(くに)との間(ま)に問題(もんだい)があっても、同じ(おな)地域(ちいき)に暮(く)らす人(ひと)と人(ひと)の間(ま)には何(なに)も問題(もんだい)はないはず(はず)。そ(そ)ういうところ(ところ)を理(り)解(かい)してもらいたい(たい)です(す)ね。

アレクサンドルさん 「国(くに)」より(よ)りも、その

「人(ひと)」を見(み)てもらいたい(たい)ね。

ヒクマさん この国(くに)の人(ひと)はこ(こ)うい(い)うタイ(タイプ)プ(っ)ていう(いう)のはある程(てい)度(ど)はある(ある)けど(けど)、それ(それ)より(よ)り個人(こじん)の性(せい)格(かく)のほう(ほう)が太(お)太(お)い(い)です(す)よね(よね)。インドネシア(インドネシア)人(じん)がみ(み)んな私(わたし)み(み)たい(たい)な性(せい)格(かく)だ(だ)と思(おも)った(ら)大(お)大(お)間(ま)違(ちが)い(い) (笑(わら))。

アレクサンドルさん 「フランス(フランス)人(じん)だ(だ)から〇〇(〇)なん(なん)で(で)しょう(しょう)」と(と)言(い)わ(わ)れる(る)のは(は)、私(わたし)は(は)す(す)ご(ご)く(く)苦(く)手(て)。

朱瑾(しゆじん)さん 私(わたし)も(も)そ(そ)うい(い)う(う)と(と)こ(こ)ろ(ろ)で(で)い(い)や(や)な(な)思(おも)い(い)を(を)し(し)た(た)経(けい)験(けん)は(は)あ(あ)る(る)けど(けど)、す(す)ぐ(ぐ)忘(わ)れる(る)こ(こ)と(と)に(に)し(し)て(て)い(い)ま(ま)す(す)。

ヒクマさん 私(わたし)は(は)2(に)回(かい)ま(ま)で(で)は(は)だ(だ)ま(ま)っ(っ)て(て)聞(き)い(い)て(て)い(い)る(る)けど(けど)、3(さん)回(かい)目(め)に(に)は(は)バ(バ)ク(ク)ハ(ハ)ツ(ツ)シ(シ)ャ(ャ)ウ(ウ)。夫(おと)の(の)両(りやう)親(しん)に(に)も(も)言(い)う(う)と(と)き(き)は(は)言(い)う(う)わ(わ)よ(よ) (笑(わら))。

たぶんか こそだ じっせんちゅう
多文化な子育て実践中！

朱瑾(しゆじん)さん うち(うち)は(は)子(こ)ども(ども)の(の)方(ほう)が(が)日(にほん)語(ご)を(を)上(じょう)手(ず)に(に)話(は)す(す)ので(ので)、「マ(マ)マ、日(にほん)語(ご)ヘ(ヘ)タ(タ)だ(だ)ね(ね)」と(と)言(い)わ(わ)れ(れ)ま(ま)す(す)。そ(そ)んな(んな)と(と)き(き)は(は)、「マ(マ)マは(は)中(ちゅう)国(ごく)語(ご)だ(だ)って(って)話(は)せ(せ)る(る)の(の)よ(よ)、す(す)ご(ご)い(い)ん(ん)だ(だ)よ(よ)」と(と)言(い)っ(っ)て(て)ま(ま)す(す)。

ヒクマさん 私(わたし)が(が)子(こ)ども(ども)に(に)よ(よ)く(く)言(い)う(う)の(の)は(は)、「あ(あ)な(あ)た(あ)の(の)居(い)場(ば)所(しょ)は(は)日(にほん)本(ぽん)だ(だ)け(け)じ(じ)ゃ(ゃ)な(な)い(い)よ(よ)」と(と)い(い)う(う)こ(こ)と(と)。日(にほん)本(ぽん)で(で)は(は)当(た)たり(たり)前(まへ)の(の)こ(こ)と(と)が(が)、世(せ)界(かい)で



は当(あ)たり(たり)前(まへ)じ(じ)ゃ(ゃ)な(な)い(い)。子(こ)ども(ども)に(に)は(は)、日(にほん)本(ぽん)の(の)価(か)値(ち)観(かん)だ(だ)け(け)で(で)も(も)の(の)ご(ご)と(と)を(を)考(かん)え(え)る(る)ん(ん)じ(じ)ゃ(ゃ)な(な)く(く)て(て)、広(ひろ)い(い)世(せ)界(かい)に(に)目(め)を(を)向(む)け(け)て(て)ほ(ほ)し(し)い(い)です(す)ね(ね)。

康江(やすえ)さん うち(うち)は(は)ひ(ひ)と(と)り(り)っ(っ)子(こ)だ(だ)か(か)ら(ら)、日(にほん)本(ぽん)と(と)フ(フ)ラ(ラ)ンス(んす)の(の)両(りやう)方(ほう)の(の)文(ぶん)化(か)を(を)持(も)っ(っ)て(て)い(い)ほ(ほ)し(し)い(い)と(と)思(おも)っ(っ)て(て)ま(ま)す(す)。日(にほん)語(ご)ば(ば)か(か)り(り)し(し)ゃ(ゃ)べ(べ)っ(っ)て(て)い(い)る(る)と(と)き(き)は(は)、「フ(フ)ラ(ラ)ンス(んす)の(の)サ(サ)ン(ン)タ(タ)ク(ク)ロ(ロ)ー(ー)ス(す)か(か)ら(ら)プ(プ)レ(レ)ゼ(ゼ)ン(ン)ト(ト)が(が)来(き)ない(ない)よ(よ)」と(と)言(い)う(う)と(と)、急(い)に(に)フ(フ)ラ(ラ)ンス(んす)語(ご)に(に)な(な)る(る) (笑(わら))。

ヒクマさん 同(おな)じ(じ)だ(だ) (笑(わら))。うち(うち)も(も)「夏(なつ)休(やす)み(み)に(に)イ(イ)ン(ン)ド(ド)ネ(ネ)シ(シ)ア(ア)に(に)連(れん)れ(れ)て(て)行(い)か(か)ない(ない)か(か)ら(ら)」と(と)。

わたし
そのままの私で
いいですか？

ヒクマさん 私(わたし)自(じ)身(しん)、母(ぼ)国(こく)を(を)離(はな)れ(れ)て(て)こ(こ)う(う)あ(あ)り(り)たい(たい)と(と)思(おも)っ(っ)て(て)い(い)る(る)こ(こ)と(と)は(は)、「世(せ)界(かい)の(の)ど(どこ)こ(こ)に(に)い(い)ても(も)私(わたし)は(は)ヒ(ヒ)ク(ク)マ(マ)で(で)す(す)」と(と)言(い)っ(っ)て(て)、胸(むね)を(を)張(は)っ(っ)て(て)言(い)う(う)こ(こ)と(と)で(で)す(す)。

アレクサンドルさん ヒクマさん(さん)は(は)、「イ(イ)ン

プロフィール

ヒクマさん

1976年生まれ。インドネシア・スラバヤ出身。日本在住10年。日本人の夫と3人の子ども(3歳・6歳・8歳)の5人家族。インターナショナル・クラブ事務局長。職業は訪問看護師。金沢市在住。



Q 日本の好きな食べ物は？

漬物・寿司・味噌汁・ふくさ(和菓子)

Q 石川県の好きな場所は？

いしかわけん す ばしょは？ ながまち ひがしやや 長町・東茶屋

Q 行ってみたい国は？

イタリア・パレスチナ・韓国

Q 日本の好きなテレビ番組は？

いけがみあきら ばんぐみ ばんぐみ 池上彰の番組・ドキュメンタリー番組

Q 今ハマっていることは？

Facebook・友だちを家に呼ぶこと。

Q 石川県の印象は？

お年寄りが多く、子どもがあまりいない。人が少ない。緑がきれい。

Q 大切なものを教えてください。

結婚式の写真と本「結婚式はインドネシアで挙げました。そのときにもらった幸せな家庭を築くポイントが書かれている本は、今でも大切にしています。」



ドネシアの人) じゃなくて「ヒクマという人) になったんだ。

朱瑾さん 私はだいが日本人っぽくなってきてます。

ヒクマさん まわりに合わせて自分を変える必要はないのよ。自分はこういうキャラクターですって、最初から出しちゃえば。困ったことがあったときに最後まで頼れるのは自分なんだから。あとは家族がいれば、どこでだって生きていける。

朱瑾さん 大都市ではいろんな人がたくさん集まっているから、そこに外国人が交じっていても浮いたりはしないと。でも、金沢は古い町だから、外国人をそのまま受け入れることに抵抗があるんじゃないかな。ここで



暮らしていく限りはしかたがないことだと受けとめているけど。

ヒクマさん 朱瑾さん、日本人の友だちもいるでしょう？

朱瑾さん 話をする人はいるけど、親しい人となると、同じ上海出身の人が多かな。日本人の中には、こちらが打ちとけたつもりでいても、突然壁をつくる人もいるので、それ以上近寄れなくなる感じ。

ヒクマさん そんな壁は、こわしちゃって内側にずんずん入って行けばいいのよ。「万里の長城」をつきやぶるいきおいで(笑)!

朱瑾さん ヒクマさんならやりそう(笑)。

「郷に入っては郷に従え」は、
せかいきょうつう
世界共通？

康江さん まわりに合わせるといえば、日本には「郷に入っては郷に従え」ということわざがあります。その地域に来たらその地域のしきたりに従え、という意味なのですが、私自身はあまり好きな言葉じゃなくて。みなさんの国には、こういう意味のことわざってありますか？

ヒクマさん インドネシアではそういうことは言わないわね。反対のことわざはありますよ。「違う田んぼには違う虫がいる」って。

やすえ
康江さん なるほど、いいですね。

アレクサンドルさん フランスもそう。「着る物によってお坊さんができるわけではない」っていうね。

えいごじん
「英語人」って、
どこの国の人？

アレクサンドルさん ことわざにもあるとおり、多様性があることは当たり前のこと。特に石川県に住んでいる外国人としては、国籍に関係なく一人の人間としての個性を理解してほしいと言いたい。

わたしは、ひとくりに「外国人」と呼ばれることにも抵抗があるけど、このあいだ「英語人だ」って子どもに指をさされてガックリしました。外国人だからといって英語をしゃべる国の人間とは限らないのに。

康江さん フランスは個人を尊重する国だから。それは私もフランスで暮らしていた頃に実感しました。日本人はよく「どこそこの〇〇さん」という言い方をします。個人よりも、会社だったり、学校だったり、住んでいる場所だったり、コミュニティや「場」みたいなものが先にくる事が多いですね。

アレクサンドルさん フランス人は何か意見を求められたら、「自分はこう思うよ」と答



えるけれど、日本人は「〇〇サークルの人間として発言します」「〇〇グループでは、こう考えます」ということが多いような気がします。

朱瑾さん 上海でも「個人」を大切にしますね。もちろんコミュニティも大切だけど、優先順位が違うということなのかな。

康江さん 個人の意見がコミュニティ全体の意見と違うと仲間はずれになるときもあるから、日本人は討論することが苦手かもしれませんね。

アレクサンドルさん 多文化を突き詰めていくと、「外国人だから違う」じゃなくて、「日本人同士でも違う」ということになるんですね。

Q 日本の好きな食べ物は？

白米・浅漬け・加賀棒茶・サラダかきもち

Q 石川県の好きな場所は？

山代温泉（だって地元だから）

Q 行ってみたい国は？ どこでも！

特に、出会った人たちが住んでいるところ

Q 日本の好きなテレビ番組は？

ドキュメンタリー番組

Q 今ハマっていることは？ 国際的個人交流

Q 久しぶりに日本に帰って来たときの印象は？

「なんて緑の多い国だろう！」

Q 日本からフランスに持っていったものを教えてください。

包丁と簡易包丁と器器「日本とフランスの包丁は刃のつき方が違います。日本のものが使いやすい！」・加賀棒茶・サラダかきもち



プロフィール

ひがしでやすえ
ルロウ東出康江さん

1964年生まれ。加賀市在住。フランスに8年在住経験あり。夫はアレクサンドルさん。NPO法人たぶんかネット加賀モンドモンドくらぶ主宰。NPO法人たぶんかびと理事。



プロフィール

しゅじん
朱瑾さん

1972年生まれ。中国・上海出身。日本在住8年。6歳の娘と日本人の夫との3人家族。押し絵やカラオケなどの日本文化にも親しむ主婦。金沢市在住。

Q 日本の好きな食べ物は何ですか？

刺身・大根寿司・漬物・和菓子

Q 石川県の好きな場所は何ですか？

東茶屋・能登島・白山

Q 行ってみたい国は何ですか？

フランス・スイス・イタリア

Q 日本の好きなテレビ番組は何ですか？

「新婚さんいらっしゃい」
「開運！なんでも鑑定団」

Q 今ハマっていることは何ですか？

料理・野菜作り

Q 石川県の印象は何ですか？

静かなところ。緑が多く、山の色がきれい。

Q 大切なものを教えてください。

佛珠（数珠）「いつも必ず身につけています。日本にも同じものがありますよね。これがないと落ち着かないんです！」



「国際的個人交流」の時代です

康江さん たとえば、初めて会ったとき「インドネシアの人」だった人が、親しくなるにつれ、「金沢に住むヒクマさんというインドネシアの人」になり、最後には「ヒクマさん」になったように、国籍を超えて、「私」と「あなた」の1対1の関係をつくっていくことって大切なんじゃないかな。

アレクサンドルさん そのためには、言語を学ぶことが大切。私は今、日本の子どもたちに外国語を教えているけど、日本の文化を外国語で発信できるということは、すばらしいことなんです。

康江さん アレクサンドルのお父さんが私に、「日本語がわからない私たちのために、フランス語を話してくれてありがとう」と言ってくれたことがあります。そういう視点はすごく大切だと思う。

朱瑾さん いいですね。「あの人は日本語がうまくしゃべれないから」と距離をおくのは、それとは反対のことですよ。

康江さん 私は今、日本語を話してくれる外国人に会うと、いつも心の中で感謝しています。

ヒクマさん 私は言葉が通じなくても、気持ち

ちは絶対に通じ合うと思う。以前、コートジボワール出身で、インドネシア語はもちろん、英語も日本語も話せない人が金沢に住んでいただけで、身ぶり手ぶりでいろんなことを伝えあって、本当に仲が良かったの。

文化の違いを比べて楽しんでみよう

康江さん 共通点を見つけることも大切ですよ。好きな音楽だったり、ファッションだったり。

朱瑾さん そうそう。私は日本に住むようになってから、いろんなタイプの人と交流するようになりました。上海にいた頃は、友だ





ちといえは価値観が合う人だけだったから。
今は全部いっしょじゃなくてもいい。何か
共通点があれば楽しい。

ヒクマさん 年齢も関係ないね。「よし、カ
ラオケ行こうか」って、年の離れた友だちと
でかけることもあるよ(笑)。

朱瑾さん 子ども同士はもっと柔軟で、文化
や生活習慣が違って、遊びを通してすぐ
仲良くなりますよね。

康江さん 逆に“違い”に目を向けると、そ
れもおもしろい。たとえば日本だと靴を脱い
だらつま先を出口に向けてそろえて置くのが
マナーですよね。でも韓国では逆に、靴のつ
ま先を出口に向けたら「幸せが逃げていく」っ
て嫌がられるんですって。

国レベルじゃなくて、地域レベルでいうと、

おなじし川県でも能登と加賀で文化は全然違っ
ていて、方言を比べたりすると盛り上がる。

朱瑾さん 確かにいろんな価値観があること
を認めて話をするとな楽しいですね。

アレクサンドルさん 価値観はひとつだけだ
と思っていると、「あの人とは考え方が違う
からもうつきあわない」となってしまう。そ
れはすごく残念なことだね。

多様性を尊重することは、
自分を尊重すること

康江さん 「自分はほかの人と違うから、ダ
メなんじゃないか」と悩むことって、思春期
にあると思うんです。考え方でも容姿でも。
そんなときに、いろんな価値観があることを
知っていれば、「自分はこれでいいんだ」と、
立ち直ることができる。これは私も経験した
こと。

アレクサンドルさん 私は、多様性を受け入
れることは、平和につながるのだと思っ
ています。みんなが互いの文化を尊重し合えば、
戦争なんて起きない。

康江さん 人と人の中には、共通点もあれば
違いもある。子どもたちには「共通点」を見
つけるだけじゃなくて、「違い」も楽しんで
もらいたいですね。

Q 日本の好きな食べ物は？ 焼き魚

Q 石川県の好きな場所は？

自然と文化が残っている場所

(石川県にはたくさんあります。)

Q 行ってみたい国は？

インドネシア・ロシア・韓国・中国

Q 日本の好きなテレビ番組は？

世界遺産の番組

Q 今ハマっていることは？ ピアノ

Q 石川県の印象は？

能登の景色が美しい。

Q 大切なものを教えてください。

世界の言語の本「世界で話されている
約 3000 語の辞典です。」



プロフィール

アレクサンドル
ルロワ コルトさん

1977 年生まれ。フラン
ス・プロヴァンス出身。
日本在任 5 年。7 歳の息
子と妻の康江さん、康江
さんの両親の 5 人家族。
フランス語・日本語の他
に、英語・スペイン語を
話す。職業は外国語教師。
加賀市在住。

